

デザイン塾：「プラスチックの逆襲 -プラスチック独自の美とは何か-」

平成 29 年 7 月 21 日(金)、慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎を会場として、「デザイン塾：プラスチックの逆襲 -プラスチック独自の美とは何か-」が開催されました。本活動は、日本機械学会デザイン科学研究会、日本デザイン学会 デザイン理論・方法論研究部会、日本設計工学会デザイン科学に関する研究調査分科会の共催により行われました。本塾は、「講演会」(第 1 部)、「書籍『プラスチックの逆襲』各著者によるライトニングトーク」(第 2 部)、の 2 部構成で開催されました。

第 1 部においては、慶應義塾大学加藤健郎専任講師の司会で、慶應義塾大学の松岡教授、千葉大学の青木名誉教授、慶應義塾大学の加藤専任講師、南条装備工業(株)の長尾氏、OPTIS JAPAN の下村氏による講演が行われました。松岡教授からは、「そして、プラスチックの逆襲が始まった」というタイトルで、青木名誉教授からは「不本意なプラスチックの歴史」というタイトルで、加藤専任講師からは「今、輝いているプラスチック」というタイトルで、長尾氏からは「自動車内装加飾とプラスチック」というタイトルで、下村氏からは「プラスチック開発の未来をさせるシミュレーション技術」というタイトルで、それぞれプラスチックについての講演が行われました。

第 2 部においては、書籍『プラスチックの逆襲』各執筆者によるライトニングトークと題し、千葉大学の寺内教授、芝浦工業大学・NORIKO HASHIDA DESIGN の橋田教授、千葉工業大学の佐藤教授、武蔵野美術大学の小林教授、南条装備工業(株)の加藤氏による講演がなされた。

その後、書籍『プラスチックの逆襲』出版記念パーティも開催され、会場では活発な議論が行われ、盛況のうちに終了いたしました。

本活動においては、設計に関わる研究・教育者の方々、実務者の方々、学生含めて約 100 名の方にお越し頂きました。



松岡由幸教授による講演の様子



青木弘行名誉教授による講演の様子



講演会の様子



懇親会の様子